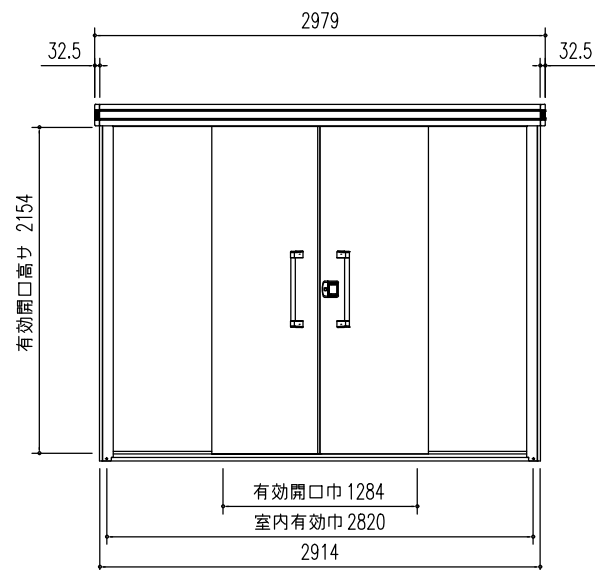
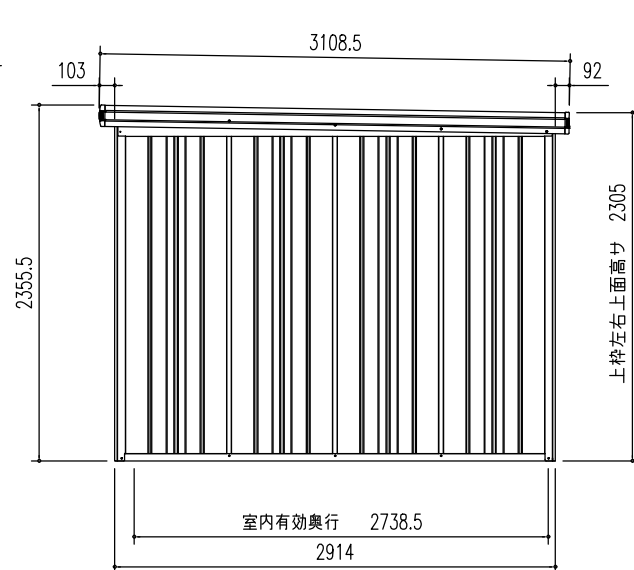
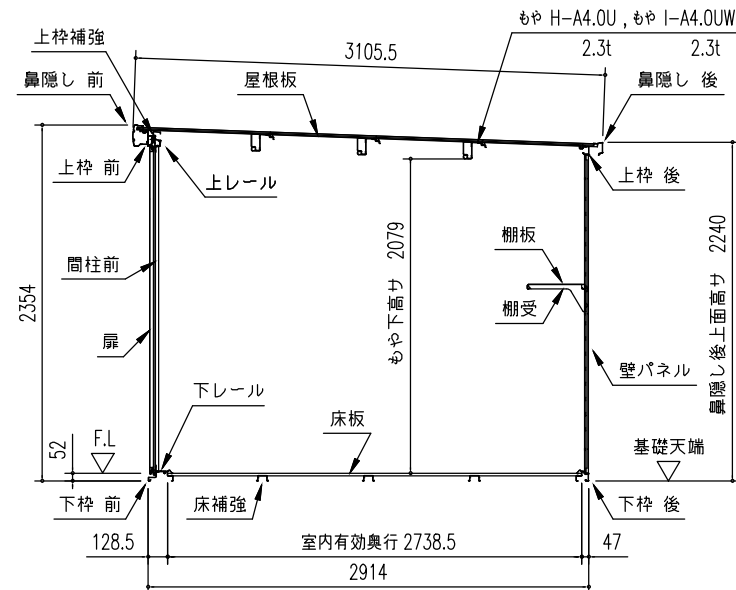
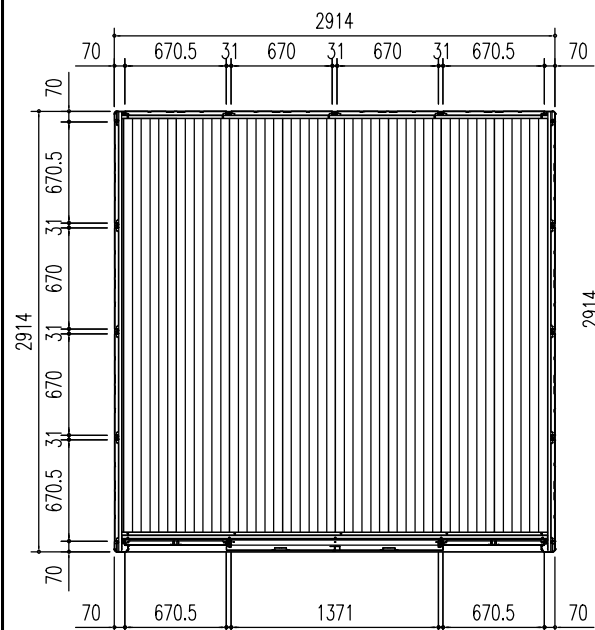




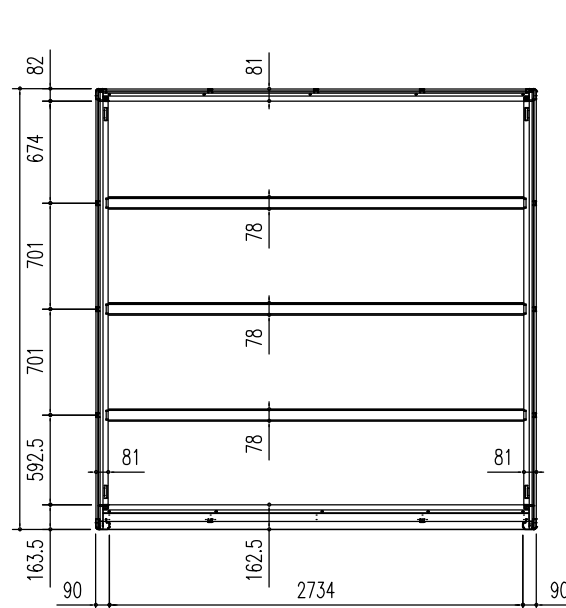
正 面 立 面 图 (S = 1/50)



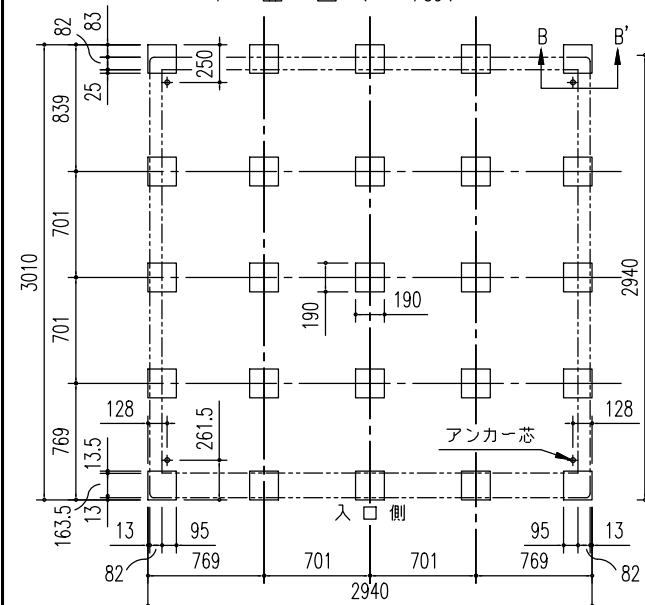
側面立面図 (S = 1/50)

矩 計 図 ($S = 1/50$)

平面图 (S = 1/50)



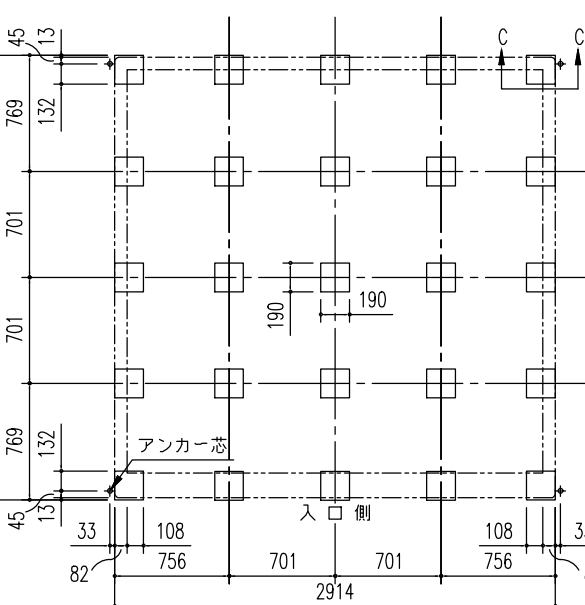
床 伏 図 (S = 1/50)



ブロック基礎伏図 (S = 1/50)

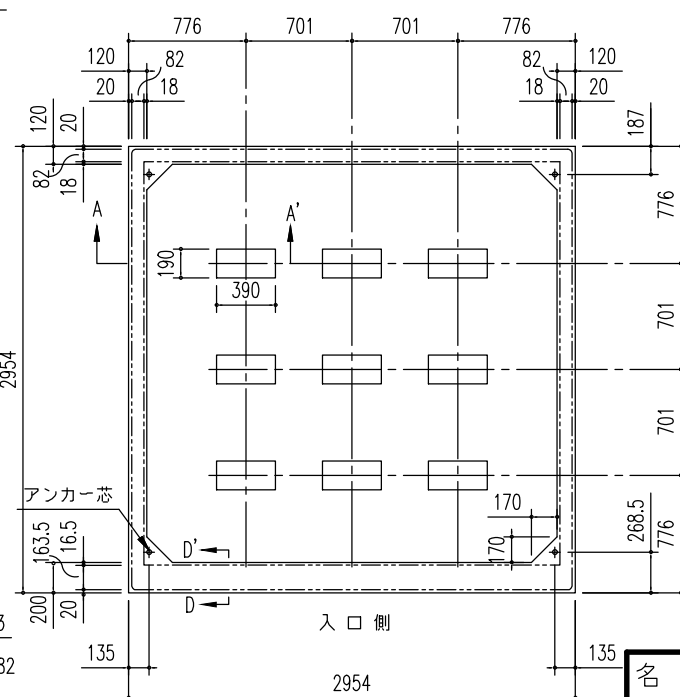
(内アンカー用)

※内アンカーセット（オプション）別途必要

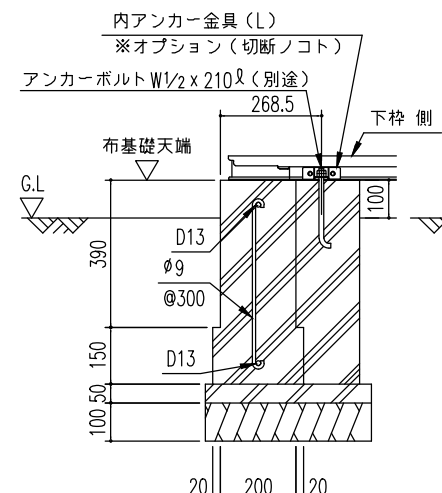


ブロック基礎伏図 (S = 1/50)

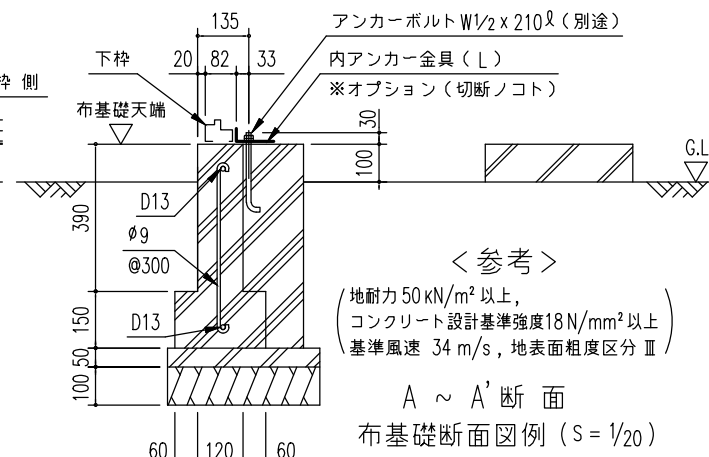
(外アンカー用)

布基礎伏図 ($S = 1/50$)

※内アンカーセット（オプション）別途必要



D ~ D' 断面



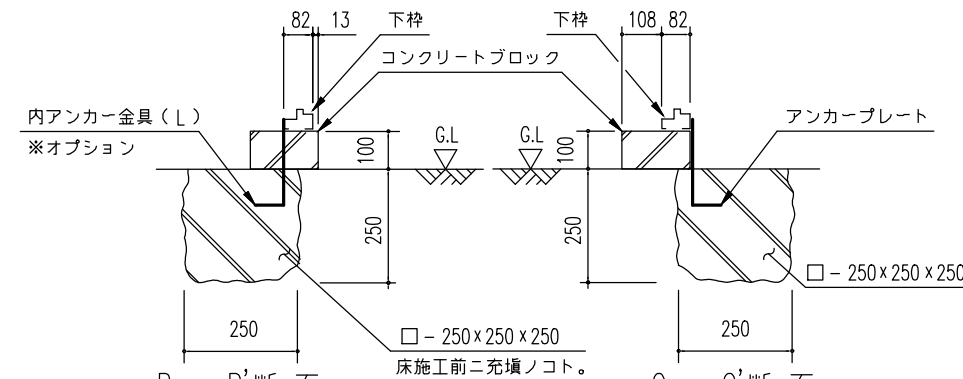
< 参考 >
 地耐力 50 kN/m^2 以上,
 コンクリート設計基準強度 18 N/mm^2 以上
 基準風速 34 m/s , 地表面粗度区分Ⅲ

$A \sim A'$ 断面
 布基礎断面図例 ($S = 1/20$)

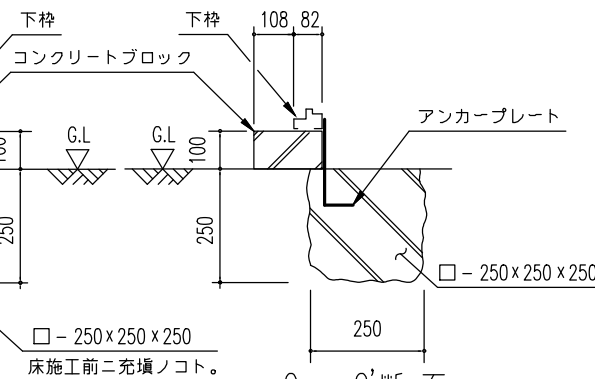
注1) 地耐力が 50 kN/m^2 未満 (30 kN/m^2 以上) の場合、底盤幅を 300 mm とし、かつ補助筋を入れて下さい。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



B ~ B'断面
(内アンカー用)

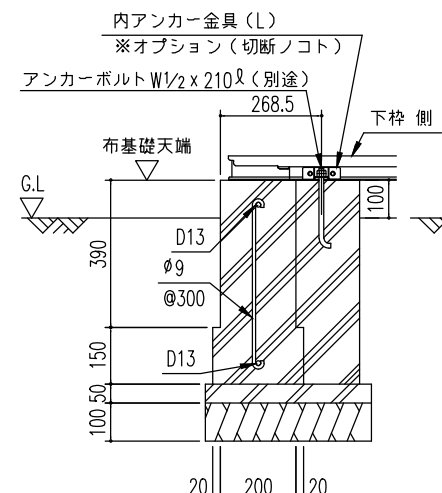


C ~ C'断面
(外アンカー用)

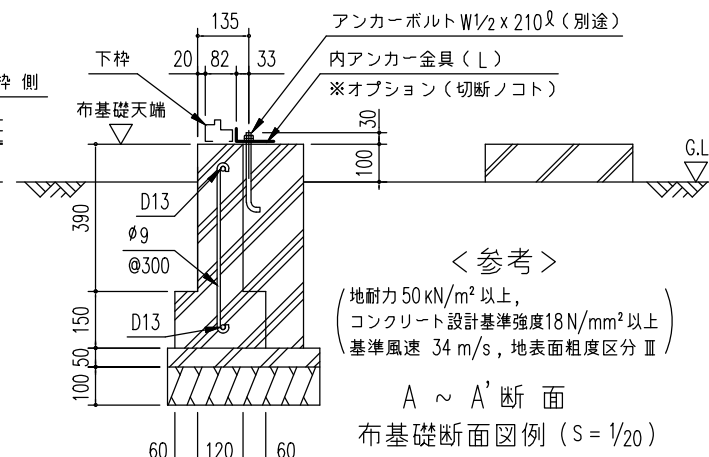
ブロック基礎断面図例 ($s = 1/2$)

部 材 名	厚さ(7mm)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床補強	1.2	JIS G3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
＜豪雪型＞もや H-A4.0U	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
＜豪雪型＞もや I-34.0UW	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下柵前(側・後)	1.2(1.0)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上柵前(後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上柵左,右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (ワイドカラー)
上柵補強	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出成形材
下レール	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (ワイドカラー)
鼻隠し後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
扉	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
袖壁	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間柱側・前	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間柱後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
アンカプレート(L)	2.3	JIS G3302 溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC (後塗装仕上げ)

部 材 名	サイズ (巾×高さ)
扉 右 H-A	716 x 2178
扉 左 H-A	716 x 2178
壁パネル H-A	670 x 2110
袖 壁 H-A	670 x 2149



D ~ D' 断面



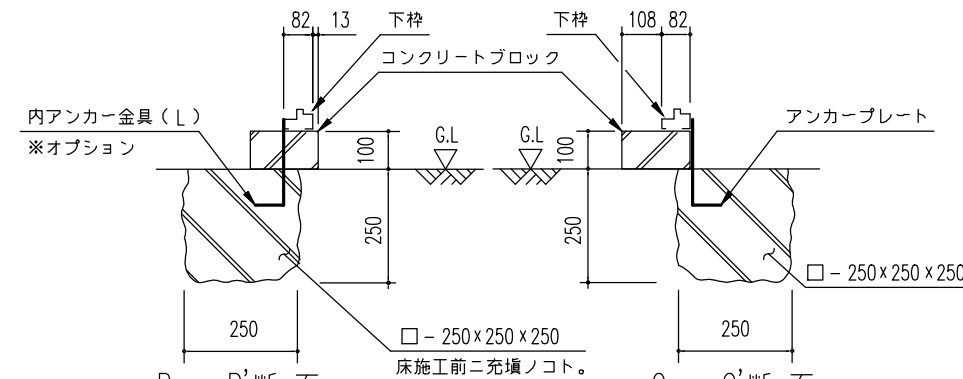
< 参考 >
 地耐力 50 kN/m^2 以上,
 コンクリート設計基準強度 18 N/mm^2 以上
 基準風速 34 m/s , 地表面粗度区分Ⅲ

$A \sim A'$ 断面
 布基礎断面図例 ($S = 1/20$)

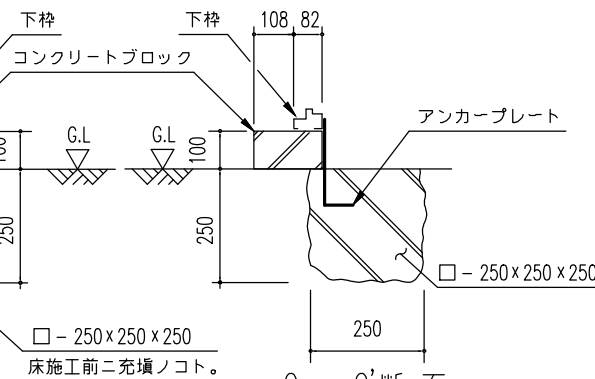
注1) 地耐力が 50 kN/m^2 未満 (30 kN/m^2 以上) の場合、底盤幅を 300 mm とし、かつ補助筋を入れて下さい。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



B ~ B'断面
(内アンカー用)



C ~ C'断面
(外アンカー用)

ブロック基礎断面図例 ($s = 1/2$)

名 称	ヨド物置 エルモ	株式会社 ヨドコウ
機種名	LMDU-2929H 型	